

イランにおける 百科事典編纂に関する一考察

カーゼム・ムーサヴィー・ボジュヌールディー
翻訳：大塚 修

百科事典とはすなわち知識の集成のことである。イランにおける専門的な百科事典の編纂にはとても古い歴史がある。もともと、これら一つ一つの作品は、通常は、当時の時代背景や知的環境に左右されながら、一人の编者により準備され執筆されたものであったわけだが。前近代イランで編纂された百科事典の傑作として挙げることができるのは次の諸作品である。諸学問に関する作品では、アブー・ナスル・ファーラービー Abū Naṣr Fārābī 著『学問総説 *Iḥṣā' al-'Ulūm*』、フワーリズミー Khwārizmī 著『学問の鍵 *Mafātīh al-'Ulūm*』(ヒジュラ暦4世紀/西暦10世紀)、ファフル・アッディーン・ラーズィー Fakhr al-Dīn Rāzī 著『学問の集成 *Jāmi' al-'Ulūm*』(ヒジュラ暦6世紀/西暦12世紀)、クトゥブ・アッディーン・シーラーズィー Quṭb al-Dīn Shīrāzī 著『王冠の真珠 *Durrat al-Tāj*』(ヒジュラ暦7世紀/西暦13世紀)。また、医学に関するムハンマド・イブン・ザカリーヤー・ラーズィー Muḥammad ibn Zakarīyā Rāzī 著『包含 *al-Hāwī*』(ヒジュラ暦3世紀/西暦9世紀)、アブー・アリー・イブン・スィーナ Abū 'Alī ibn Sīnā の手になる医学に関する『医学典範 *al-Qānūn*』(ヒジュラ暦4世紀/西暦10世紀)、および哲学に関する『治癒 *al-Shifā'*』といった大部な作品、さらに後の時代に編纂されたシャムス・アッディーン・アームリー Shams al-Dīn Āmulī 著『高貴なる学問 *Nafā'is al-Funūn*』(ヒジュラ暦8世紀/西暦14世紀)。ヒジュラ暦12~13世紀/西暦18~19世紀のイランでは、百科事典的な辞典や人物伝が何点か編纂された。それらの中で最も有名な作品が、『学者の書 *Nāma-yi*

Dānishvarān』である。イランとイスラームの学者たちの生涯と業績を扱った作品で、ヒジュラ暦 1294 年／西暦 1877 年、ナーセッロッディーン・シャー Nāṣir al-Dīn Shāh の命令により、エエテザードッサルタネ I'tiḍād al-Saltāna の監修の下で編纂が始められた。ヒジュラ暦 1296 年／西暦 1879 年に第 1 巻が出版された。出版されたのは 7 巻目までで、以降の巻は出版されなかった。ハージー・ゼイノルアービディーン・シールヴァーニー Hājī Zayn al-'Ābidīn Shīrvānī の手になる『旅の園 *Riyāḍ al-Siyāḥa*』と『旅の庭園 *Bustān al-Siyāḥa*』もこの時代に編纂された百科事典的作品であり、歴史的・地理的に幅広い情報と詩人・神秘主義者・知識人の情報を含むものである。

『天国の園 *Riyāḍ al-Jinna*』（ヒジュラ暦 1216 年／西暦 1801 年）や『学問の海 *Baḥr al-'Ulūm*』（ヒジュラ暦 1209 年／西暦 1795 年）といったその他の作品、また、モハンマド・タギー・ハーン・ハキーム Muḥammad Taqī Khān Hakīm 著『知識の宝庫 *Ganj-i Dānish*』（ヒジュラ暦 1305 年／西暦 1888 年）は、この時代の別の種類の百科事典的作品である。

現代になり、知識を様々な階層の人々に普及させる必要性が高まると、現代的手法を用いた辞典や百科事典を編纂しようという試みが見られるようになった。この分野に関して著された最も重要な諸作品の中には、次のようなものがある。

1. 『デフホダー辞典 *Lughat-nāma-yi Dihkhudā*』

著名な知識人・文学者であるアリー・アクバル・デフホダー 'Alī Akbar Dihkhudā が、ペルシア語とペルシア語諸方言の語彙、および文学者・知識人の簡潔な経歴と業績を広く収集し解説する目的で編纂した辞典的・百科事典的作品。『デフホダー辞典』の第 1 巻は、ヒジュラ太陽暦 1325 年／西暦 1946/7 年に出版された。デフホダー辞典研究所による様々な改編を伴う編集・調整・増補の作業には、その後約 40 年の時が費やされた。この辞典の旧版は、大型の判型で 50 巻、26,000 頁にもなる。後に手が加えられたことで、本の有用性は一層大きくなった。

2. 『ペルシア語百科事典 *Dāyirat al-Ma'ārif-i Fārsī*』

ゴラーム・ホセイン・モサーヘブ Ghulām Ḥusayn Muṣāḥib、その後、レザー・アクサー Riḍā Aqṣā が編集した大型の判型で 3 巻、3,600 頁にもなる百科事典。ペルシア語で現代的手法を用いて編纂された、最初の総合百科事典。この百科事典の第 1 巻はテヘランでヒジュラ太陽暦 1345 年／西暦 1966/7 年

に出版された。この百科事典の原型となったのは、2巻本の『コロンビア百科事典』ⁱである。ほぼ同じ程度の分量、イランとイスラームの文明・歴史に関する項目も補われている。これらの項目の記事は、著名な専門家たちが細心の注意を払いながら書いており、とても重要で信頼のおけるものである。

3. 『イラン・イスラーム百科事典 *Dānish-nāma-yi Īrān wa Islām*』

イラン学・イスラーム学研究の日毎に高まる重要性、および『イスラーム百科事典 *Encyclopaedia of Islam*』(初版はドイツ語、フランス語、英語の3ヶ国語でオランダのライデンで出版され、その後、アラビア語、ウルドゥー語、トルコ語にも翻訳された)が獲得した信頼性に鑑み、エフサーン・ヤールシャーテル *Ihsān Yārshātir* は、ヒジュラ太陽暦 1353年／西暦 1974/5年に『イスラーム百科事典』第2版をペルシア語に翻訳し、イランとシーア派に関する項目を増補するという考えに至った。この作業はすぐに実行に移され、ヒジュラ太陽暦 1357年／西暦 1978/9年までに10冊の小冊子が出版された。その中には、『イスラーム百科事典』第2版から翻訳された記事、およびイラン人の研究者たちが執筆した記事が含まれている。

しかし、パフラヴィー朝体制の崩壊とイスラーム共和国の誕生にともない、エフサーン・ヤールシャーテルはアメリカに去った。彼はアメリカで、『イラン百科事典 *Īrānīkā*』ⁱⁱというタイトルで、古代から現在に至るまでのイランの文化・文学・文明に特化した百科事典を計画し編纂した。今日に至るまで、この百科事典は、アメリカにおいて、英語で15巻以降まで出版されている。

イスラーム共和国の時代のイランでは、多くの専門的な百科事典や総合百科事典が出版されている。それらの中でもより重要なのは、『イスラーム大百科事典 *Dāyirat al-Ma‘ārif-i Buzurg-i Islāmī*』、『イラン百科事典 *Dānish-nāma-yi Īrān*』、『民俗学百科事典 *Dāyirat al-Ma‘ārif-i Farhang-i ‘Āmma*』、『イスラーム世界百科事典 *Dānish-nāma-yi Jahān-i Islām*』、少し対象を狭めたものでは『シーア派百科事典 *Dāyirat al-Ma‘ārif-i Tashayyu*』といった百科事典である。

4. 『イスラーム大百科事典 *Dāyirat al-Ma‘ārif-i Buzurg-i Islāmī*』

この百科事典は、イスラーム大百科事典センター(イラン・イスラーム研究センター)における研究努力の賜物である。このセンターは、ヒジュラ太陽暦 1362年エスファンド月／西暦 1984年3月、人類の知識に関する様々な事柄、特に、イスラームとイランの文化・文明に関する、総合百科事典・専門的な百科事典・参考書を準備し、編纂し、出版するという目的の下に、カ

ーゼム・ムーサヴィー・ボジュヌールディーによって設立され、イラン人の著名な知識人・研究者たちが協力者として招聘された。このセンターは最初の一歩として、イスラームとイランの文化・文明・文学・芸術・歴史・哲学・学問の最も重要な諸側面に関する記事を扱う『イスラーム大百科事典』の編纂を、作業計画の中に入れた。実際に計画が実行に移されたのは、ヒジュラ太陽暦 1363 年／西暦 1984/5 年の中ごろで、第 1 巻はヒジュラ太陽暦 1367 年／西暦 1988/9 年に出版された。このセンターが設立されてもう 30 年にもなるが、今日に至るまでに、ペルシア語版『イスラーム大百科事典』は 21 巻目まで出版されている。

この百科事典の重要性が日毎に増し、イスラーム世界の研究者、および世界中のイスラーム学者・イラン学者に歓迎されたことに励まされて、このセンターはそのアラビア語訳・英語訳の編纂に取り組み始めた。『イスラーム大百科事典』アラビア語版の編纂は、ペルシア語版の第 4 巻が出版されてしばらく経った後、このセンターにおいて名高い翻訳家と専門家たちにより始められ、第 1 巻はヒジュラ太陽暦 1370 年／西暦 1991 年に出版された。今日に至るまで『イスラーム大百科事典』アラビア語版は 8 巻目まで出版されている。

数年後、『イスラーム大百科事典』英語版の編纂についても、ロンドンのイスマール派研究所から提案があった。詳細な打ち合わせを経て、イスラーム大百科事典センターの研究者たちとイスマール派研究所の研究者たちからなる合同の研究班を作った後、計画が実行に移された。そして、ついに西暦 2000 年、『イスラーム大百科事典』英語版の第 1 巻が、『イスラーム百科事典 *Encyclopaedia Islamica*』というタイトルで、オランダのライデンで出版された。これは、イスラーム大百科事典センターとロンドンのイスマール派研究所の監修の下、翻訳・編集されたもので、西欧のイスラーム学やイラン学の諸研究機関に歓迎されている。今日に至るまで『イスラーム百科事典』は 4 巻目まで出版されている。『イスラーム百科事典』は、ヒジュラ太陽暦 1389 年／西暦 2010/11 年には、イラン年間国際図書賞を受賞している。

5. 『イラン百科事典 *Dānīsh-nāma-yi Īrān*』

イスラーム大百科事典センターにより出版された、ペルシア語による総合百科事典で、人類の文化・文明に関する重要な事項が掲載されている。この百科事典は、世界の知的・文化的成果から出てくる一般教養を普及させる目的で編纂された。それ故に、記事の大多数は、世界的に権威のある百科事典（様々な言語、特に、英語、ドイツ語、フランス語）から引用され、ペルシア

イランにおける百科事典編纂に関する一考察

語に翻訳されたものである。しかし、イランとイスラームの文化・文明に関連する事項に関しては、特別にこの百科事典のために書き下ろされたものである。あるいは、まさにこのセンターで編纂・出版された『イスラーム大百科事典』から引用されてきたものである。『イラン百科事典』の第1巻は、ヒジュラ太陽暦 1384 年／西暦 2005/6 年にテヘランで出版され、今日に至るまで4巻目まで出版されている。

6. 『イラン民俗学百科事典 *Dānish-nāma-yi Farhang-i Mardum-i Īrān*』

この百科事典もまた、イスラーム大百科事典センターの研究者たちにより執筆・編纂された作品である。この百科事典は、ヒジュラ太陽暦 1387 年オルディーベヘシュト月／西暦 2008 年に、イランにおける民俗学・人類学の専門的で詳細な百科事典として、編纂作業が開始された。第1巻はヒジュラ太陽暦 1391 年／西暦 2012/3 年に出版された。今日に至るまで2巻目まで出版され、専門家たちに歓迎されている。この百科事典の執筆陣も、『イスラーム大百科事典』と同様に、イラン人とイラン人以外の専門家たちより構成されている。

7. 『大テヘラン百科事典 *Dānish-nāma-yi Tih-rān-i Buzurg*』

『大テヘラン百科事典』は、包括的で信頼できる、大テヘランの物質・精神生活のあらゆる事柄を扱う参考書を編纂するという目的の下に企画された、詳細で専門的な百科事典である。ここ数十年間のテヘランの急速な発展は、数十年前の姿からは想像もつかないくらいに、この町の姿を大きく変貌させた。それ故に、イスラーム大百科事典センターは、テヘランのもともとの姿を、子孫のために記録するという目的で、大テヘランという主題の詳細で専門的な百科事典の編纂を作業計画の中に組み込んだのである。『大テヘラン百科事典』は、テヘランの大きな三つの地域区分にしたがい、3部構成で編纂される予定である。第1部はシェミーラーン、第2部はテヘラン市、第3部はレイである。これらの3部は独立した構成になっており、それぞれにアルファベット順に配列された項目が設けられている。この百科事典からはシェミーラーンに関する2つの巻がヒジュラ太陽暦 1392 年／西暦 2013 年に出版された。

8. 『イスラーム世界百科事典 *Dānish-nāma-yi Jahān-i Islām*』

この百科事典の編纂は、ヒジュラ太陽暦 1362 年／西暦 1983/4 年、テヘラ

ンで始められた。その趣旨は、ヨーロッパで出版された『イスラーム百科事典 *Encyclopaedia of Islam*』第2版に基づき、エフサーン・ヤールシャーテルが執筆・翻訳を始め、アレフの項目までを10冊の小冊子で出版していた百科事典の編纂を引き継ぐことにあった。それ故に、『イスラーム世界百科事典』はバーの文字から始まる。初期の巻に掲載されている記事の大部分は、『イスラーム百科事典』第2版と『イラン百科事典』という2つの信頼できる百科事典に収録されているイスラームとイランに関連する記事の翻訳にすぎず、小冊子の形で出版されていた。しかし、徐々に専門的に研究し執筆するという傾向が強くなり、近年出版された巻に掲載されている記事の大半は、特別に『イスラーム世界百科事典』のために記事を執筆する研究者・知識人たちの手になるものである。『イスラーム世界百科事典』の最初の小冊子の出版は、ヒジュラ太陽暦1369年／西暦1990/1年のことであった。その後、小冊子での出版は取りやめとなり、百科事典は装丁された巻の形で出版されるようになった。この百科事典は今日に至るまで、17巻目まで出版されている。この百科事典の2巻分がアラビア語に翻訳されている。

訳者註

ⁱ *The Columbia-Viking Desk Encyclopedia*, 2 vols., New York: Viking Press, 1953.

ⁱⁱ *Encyclopædia Iranica*